

# 命を削る貧困の労働現場から

毎日新聞 社会部記者  
東海林 智 氏

第5回全国組織拡大経験交流集会で学習会が開催されました。その講演について、667で引き続き記載します。

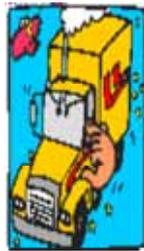


NO. 667  
発行  
09・6月15日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教 宣 部

## 日雇い労働者から 日雇い派遣に



大阪で二年間、労働問題を担当していた。一〜三万人の日雇い労働者が生活していた(通称どや街)。一九九九年秋、バブルが弾けて景気が悪い状況になり、職安に労働者が集まった。



日雇い会社は、集まった労働者に対して労働条件を提示した。トラックに賃金など労働条件を紙に書いて貼った。労働者は、賃金や条件に合った請負業者のトラックに乗り現場へいっていった。条件に合うものがなかなか無く、毎日仕事にありつける労働者は少なかった。

## 直接携帯へ 仕事の電話

しかし毎日、仕事をしている労働者がいた。その労働者は携帯電話を持っていて、会社の親方から直接、仕事の電話依頼がくる。その労働者は登録されていて、わざわざハローワークなどへ行かなくても直接現場へ行って仕事にありつけた。

これは、日雇い派遣のシステムとまったく同じだ。労働者へ携帯電話やメールで連絡し労働条件を提示していた。大阪でやっていたことが、日雇い派遣のシステムになっていった。

## システム導入で 賃金が下がった

このシステムが導入されて賃金が下がった。一日一万円が最低賃金だった。それは労働組合の力でそうならなかった。一万円以下の仕事は、やらないルールがあった。

携帯電話で労働者を集めてから賃金が下がった。若い人たちも含めて集めるようになった。一万円以下の賃金で日雇い労働者が集まった。それが、七千円まで下がった。そのため日雇いが無くなった。若い人たちは、一万円の最低賃金を知らないし、請負会社も知らせていなかった。



## 裁判員制度の仕組みと問題点 その5

### 陪審制との違い～選択権・量刑判断

陪審員制度では、争いのある事件について、陪審員が事実認定のみを行います。被告人は、陪審員による裁判か職業裁判官による裁判かを選択する権利が認められているのが一般です。裁判員制度には被告人の選択権はなく、裁判員は事実認定だけでなく、量刑の判断にまで関与します。

被告人に選択権がないこと、裁判員が量刑判断に関与することは、強い批判の意見があります。とりわけ死刑制度がある、わが国で裁判員が量刑判断にまで関与することは大きな問題があります。



## 賃金が下がったのは

賃金が下がったのは若者の労働者が増えたことと構造改革で同時に下がった。

仕事量が少なくても会社は一日分の賃金を払っていたが、状況が変わってから労働時間数の(半日や数時間の時)賃金だけが支払わなくなった。一日の賃金が下がった。

賃金が下がり、雇用が無くなり労働者は野宿となっていた。二〇〇〇年で一万二千人になり、一箇所での公園だけでは生きていけ

ないため大阪市など複数の公園へ移っていった。可視化・実態が見えるようになった。日雇い派遣者もそうになっていった。ネットカフェ難民となって急激に増えている。一週間のうち三〜四日しか仕事が無い時はネットカフェへ・それ以下はマックへ・それ以下は野宿となる。仕事がある・無しで朝を迎える場所が変わってくる。

(裏へ続く)





### 痛の流動化

労働者の三角形〜雇用条件が変わってくる。流動的な労働者 派遣労働者、労働者派遣法が基盤になっている。雇用形態を崩し自由につかむこと。正社員は一部分とする。

### 過労死

労働者を、環境・実態から死まで使う。トヨタは過労死や自殺が多い。過労死など発生するとトヨタの人事部は自宅まで行って、『今度は子供さんにトヨタに入っていたらどうなる。』と話している。それは過労死としないで欲しいというところと同様。この制度で、もみ消す。

過労死について労災申請したが労基署は認めなかった。(署長はトヨタに接待されていた) 裁判所へ訴えた。月々残業が四五時間、トヨタは四五時間を主張した。一〇〇時間はサービス残業(Q

「サークル活動などと主張」しかし裁判所は労働時間とみなし労災に認定した。

### 独自に救急車・消防車 病院がある

トヨタは独自の救急車・消防車や病院がある。それによって事故の状況が、わからなくなること、事故の記録が残らない。自殺の統計でトヨタ一〇〇豊田警察署がある。その自殺者にトヨタ関係者が多いのではないが。



### 名ばかりの管理者 管理者でないのは アルバイトだけ

マックの店長は会社は残業を支払わない。二〇〇〇万円を超える残業。しかし、名ばかりの管理者で何の権限も無い。自分の店に対して、運営・企画などの考えを上部に言っても受け入れられない。それでいて、店長だということ、サービス残業をさせている。その状況が、あらゆる企業・場面で広がっている。誰でも管理者にさせて残業を支払わない。ある企業では、管理者でないのは、アルバイトだけだ。

### 自分の命と 仲間を守りたい 提訴へ

マック関係では、裁判所に提訴した。マック側は負けると判断し、提訴した店長に一億円払うからやめて欲しいと言った。しかし店長は、自

## 定期大会日程

全国大会 

8月21日(金)~22日(土)

東日本本部大会

9月23日(水)~24日(木)



### 派遣村が 問いかけたもの

派遣村が、取り組まれて現状が可視化された。幅広い実行委員会が形成された。労働者・労働組合・政党・NPOなど結集し多くの命が守られた。全国へ波及し派遣村が開所していった。現状を突きつけて世の中を変えよう力になっていった。

### 今後の労働組合は 私たちに 求められていること

労働運動は国労にもう一回、力をつけて欲しい。国労は全国単一性・さまざまな労働運動を担っていった。地域の労働運動を立て直していくことが日本の労働運動を変えていく。職場や地域で運動を展開していく。連帯できる労働者を結集していく。信頼される国労をつくっていくこと。

### 編集後記

『国鉄新潟』が今号で六六七号になり、目標の年間発行数が三〇号にようやくになりました。なかなか定期発行ができませんでしたが、組合員みなさんの御協力今年も達成することができました。今は、ホットしています。ありがとうございました。

